

第2期常陸大宮市創生総合戦略(案)に対する意見募集の結果をお知らせします

実施結果等について、下記のとおり公表します。また、市ホームページや市役所政策審議室企画政策課（本庁3階）、各支所窓口でも閲覧できます。

1. 意見募集の実施状況

- (1) 意見の募集期間：令和2年2月10日（月）～令和2年3月10日（火）
- (2) 意見の提出者数：3名
- (3) 意見の提出方法：持参3名

2. 意見の内容および意見に対する市の考え方

(※意見のタイトル、意見の内容については原文のとおり)

No.	1
意見のタイトル	明日への希望 (人口減少は自然の流れ、過度な反応をする前に)
意見の内容 (原文)	<p>人口の増加策を柱に常陸大宮市の創生を図る計画の必要性は十分にわかるのですが、過去の推移からは無理なのではないでしょうか。</p> <p>結婚は個々人の心の問題であり、組織的・金銭的な支援を中心とした方法でサポートするほうが問題だといえるのではないのでしょうか。今の若い人達は…と言うつもりはありませんが、昔と今の結婚観は相当に変化しております。進歩しているとは思いません。今だけ、金だけ、自分だけとその場限りの幸せを求めている若者が多くなっていると感じています。自分もやがては老いていくものだと認識していれば自分の一生を長期的な視点で見詰めることが出来ます。若い内に結婚して子供が授かりやがてはその子供達に支援されながら幸せに暮らすという夢が実現されると思います。</p> <p>県内の人口は減少しておりますが、県南の一部の地域は増加しております。一方で常陸大宮市を含めた県北地区の全てが減少幅が加速しております。これには必然性があり、当面続くものと思います。努力は必要ですが、出来ることから、小さなことでもしっかりと取り組むことが大切であると思います。幸いなことに道の駅が出来て以来、ここに立ち寄る他県の方々が増加しております。その中には、当市の良さを吸収しながらリピーターとなりその情報を周囲に広めてくれることと思います。道の駅北側の親水公園（辰の口）にはさくらの大木が五十本位あるのでしょうか。春の頃とてもきれいですね。水戸には梅があり、大子には袋田の滝があります。その中間点に位置する当道の駅周辺が桜の名所に成長するならば、国道118号線のオアシスとして発展し、その過程に於いて、常陸大宮市は良い所として定着し、ここに住んで見たいな！と思う人々が出て来るのではないかと期待したいです。</p> <p>市のアンケート等から分かることは、子供達が成長するにつれ、就職等を機に、外へ出たいなという願望が強くなっております。他の地区も同様でしょう。全国的に見ても地域間の奪い合いでしか。人口増加は簡単なことではありません。この現実をしっかりと受け止めて、若い人達の心の成長を待ちながらしっかりと取り組む必要があると感じております。</p>
意見に対する市の考え方	<p>本市では、平成27年に第1期創生総合戦略を策定し、「まちづくり、ひとづくり、しごとづくり」に取り組んでまいりました。しかしながら、全国的に人口減少、少子高齢化が進行する中で、本市においても人口減少が進んでおり、今後も減少傾向で推移していくことが避けられないことから、第2期創生総合戦略では、これまでの概念に捉われず、柔軟な発想や斬新なアイデアで、大胆な施策に勇気を持ってチャレンジし、強い危機感を持って人口減少対策に取り組んでまいります。</p> <p>結婚については、価値観が多様化する中で、個人の意思によることを踏まえたうえで、少子化の一因とされている生涯未婚者の減少や晩婚化の解消に向けて、結婚を希望する人に対して、出会いの機会の創出や結婚に関する情報提供・各種相談の実施、結婚後の経済的支援など、引き続き結婚支援の充実を図ってまいります。</p>